

助手

金子 由里

■ 学歴

1. 2009年 西南女学院大学保健福祉学部看護学科 卒業

■ 学位

1. 2009年 学士

■ 研究分野

1. 高齢者看護
2. 高齢者看護技術
3. 看護エコー Point-of-care Ultrasound

■ 研究キーワード

1. 看護基礎教育 高齢者看護技術
2. 看護エコー Point-of-care Ultrasound
3. タクティールケア

■ 研究課題

1. 看護基礎教育での高齢者看護技術演習について考察する。
2. 看護基礎教育における超音波エコー装置を用いた技術演習の学修効果について考察する。
3. タクティールケア評価表を開発し、施術者が受けた心身への影響について考察する。

■ 担当授業科目

1. 老年看護学概論（前期）必修
2. 老年看護学演習（前期）必修
3. 老年看護学実習（後期）必修

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【老年看護学概論】 高齢者のヘルスプロモーションを検討することを目的とし、加齢性変化と生活環境を体験する高齢者体験技術演習を行った。高齢者体験装具着用下での体力測定2ブースを担当したが、安全な技術演習の進行のための配慮と学修目的が達成できるように演習や考察方法について、指導した。
2.	授業科目名【老年看護学演習】 実習での担当患者や高齢者に起こり得る看護診断を想定し、作成したペーパーペイシェント事例で看護過程展開を行った。個人提出された課題すべてを確認し、返却時に講義内でリフレクションを行った。アセスメントパターン毎に説明を行い、記載すべき項目内容について資料を作成し、配布した。

	<p>また、文献的考察の視点学修のために、各講義、2～3文献を要約し、紹介・配布した。</p> <p>老年看護技術では、実習室確保が難しく、土曜に2コマ開講して実施した。高齢者看護技術としてと肢血流評価ABI測定、褥瘡・下肢潰瘍評価、残尿測定、片麻痺患者車椅子トイレ移乗、超音波画像診断装置を使用した前腕皮静脈マッピング、消化管内容物観察を行った。</p> <p>技術項目毎に学生が主体的にローテーションしながら学修できるように事前課題、演習当日課題、事後課題を記載するワークシートを作成し、発展的な学びになるように工夫をした。</p> <p>学生は、自身のデータ測定値・観察結果を基に考察し、看護ケア内容や看護計画を検討した。</p>
3.	<p>授業科目名【老年看護学実習】</p> <p>多岐に渡る複雑的疾患や医療現場での高齢者疾患理解のために、全4施設（急性期・回復期・療養型病院）で実習を行った。グループダイナミクスを活用するために学生2～3名で患者1名を担当した。学生が協力し、互いに知識の補填をすることによって病態や患者理解に繋がった。</p> <p>臨地実習で多くの検査見学や看護技術ケアを経験することが出来るように学生担当指導者と情報共有及び調整を行った。その結果、例年以上に多くの検査見学や看護技術ケアを経験することが出来た。また、チームカンファレンスに参加させて頂いたことで、学生は多職種連携及び協働の重要性、多職種間の看護師の役割を学ぶことが出来た。急性期病院での疾患理解は学生にとって難しいものであったが、疾患背景や根拠のある看護の理解に繋がるように、様々な資料を用いながら指導を行った。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2009年4月～現在に至る	日本看護協会／福岡県看護協会	会員
2.	2019年7月～現在に至る	日本看護科学学会	会員
3.	2021年8月～現在に至る	日本血管看護研究会	事務局・会員
4.	2025年1月～現在に至る	日本静脈学会	会員

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）					
1.	無し				
（学術論文）					
1.	2024.3	看護エコーの意義と活用への課題に関する文献的研究	共	西南女学院大学 紀要VOL.29 p23-36	①看護エコー、POCUS(Point-of care Ultrasound)の特徴と看護エコーの意義について文献的に検討し、課題を考察した。 ②共同著者：溝部昌子、吉原悦子、金子由里
（翻訳）					

1.	無し				
(学会発表)					
1.	2025.3	看護エコーの活用に関する文献的研究	共	第 17 回日本静脈学会瀬戸内西日本支部総会 (於 長崎)	①看護エコーの対象となる看護場面、観察対象、観察で得られた結果による看護ケア選定について文献的研究を行い、看護エコーの意義を示した。また、活用するための課題について検討し、報告した。 ②共同発表者：溝部昌子、金子由里

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	看護師による POCUS 活用に関する研究-DVT 予防対策と安全なケアへの効果	文部科学省科学研究費補助金 基盤(B)	○溝部昌子 吉原悦子 <u>金子由里</u> (重松邦広) (宮田哲郎) (岩倉真由美)	910,000 円(R4-6)

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.	無し			

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年 5 月 31 日 13:30~16:30	日本血管看護研究会	第 9 回日本血管看護研究会 実行委員 (於 大分県別府市)

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日	看護学科物品管理委員	委員

